

大阪大学 スーパーグローバル大学創成支援事業 ロジックモデル

インプット

SGU補助金

物品費

- 設備備品費
- 消耗品費

人件費

- 特任教員
- クロスアポイントメント経費
- 特任事務職員
- 事務補助員

謝金

- TA・TF
- チューター

旅費

- 国内調査旅費
- 海外調査旅費
- 外国人招へい旅費

その他

- 外注費
- 印刷製本費
- 会議費
- 通信費

アクティビティ

【教育】

- ①学事暦（4学期制）改革
- ②カリキュラム改革
- ③学位プログラム毎の教育目標及びポリシー策定
- ④科目ナンバリング
- ⑤GPA制度
- ⑥シラバスの実質化
- ⑦教育のアセスメントプラン策定
- ⑧SERU
- ⑨TA制度改革
- ⑩英語による授業
- ⑪TOEFL-ITPのスコアの共通教育英語への活用
- ⑫外国語学部のリソースを活用した人文社会系教育プログラムの実施
- ⑬Academic English Support Desk

【人材獲得・国際展開】

- ⑭AO・推薦入試
- ⑮海外在住私費外国人留学生特別入試
- ⑯edX (OsakaUx-MOOCs) による配信
- ⑰学生海外派遣・留学生受入れの支援・危機管理等
- ⑱UC/UCEAP大阪オフィスの開設及び諸活動
- ⑲年俸制/クロス・アポイントメント制度
- ⑳海外向け情報発信の積極的配信

アウトプット

教育の内部質保証体制の構築 (①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

A, B, D

全学生に占める外国人留学生の割合 (①⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

C, D

日本人学生に占める留学経験者の割合 (①⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

C, D

教(職)員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教(職)員等の割合 (⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

C, D

教職員に占める女性の比率 (⑲)

C

英語による授業の実施・英語コースの拡大 (⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

C, D

学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組 (⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

C, D

ダブル/ジョイント・ディグリー・プログラム (①④⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

B, C, D

大学間協定に基づく交流数 (⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

C, D

初期アウトカム

A 高度教養教育実施体制の整備

B 新たな学位プログラムの展開

C ダイバーシティの強化

D グローバル化の基盤強化

インパクト

「世界屈指のイノベティブな大学」となり、社会との「共創」を通じ、「知」を創出し、人材を育成することによって、人類の幸福と社会の持続的成長に貢献

世界屈指のイノベティブな大学へ

指定国立大学法人構想における主な取組

卓越した研究実績と強みを活かし、「共創」により世界的研究拠点の形成

共創機構による組織間連携の推進により「知」「人材」「資金」の好循環を実現

「共創」に向けた人材育成・獲得

国際協働ネットワークの基盤強化

ガバナンス・財政基盤の強化

指定国立大学法人構想における取組の発展にも貢献

中・長期アウトカム

イノベーション人材の育成

教育・研究の世界展開

産学共創の深化

卓抜した研究の持続的創出

ガバナンス体制の強化

SGU事業の各種取組を活用して中・長期アウトカムを実現

コロナ新時代に対応した取組が必要

好循環「知」「人材」「資金」の基盤構築

SGU補助金以外

物品費

人件費

旅費

その他

- ⑳海外拠点における諸活動
- ㉑国際ジョイントラボの形成
- ㉒グローバルビレッジ
- ㉓OUグローバルキャンパス
- ㉔国際共同研究促進プログラム

【構想実現のための体制構築】

- ㉕教育オフィス
- ㉖高等教育・入試研究開発センター
- ㉗マルチリンガル教育センター
- ㉘グローバルイニシアティブ・センター
- ㉙国際共創大学院学位プログラム推進機構
- ㉚世界最先端研究機構
- ㉛先導的学際研究機構
- ㉜共創機構
- ㉝オープンイノベーション機構
- ㉞データビリティフロンティア機構
- ㉟経営企画オフィス
- ㊱産学連携体制の整備
- ㊲ガバナンス改革

大阪大学ASEANキャンパス開設 (㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

D E

グローバルナレッジパートナーの拡充 (㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

D E G

国際共同研究の数 (㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

E F G

共同研究講座・協働研究所の拡充 (㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

E F G

統括理事（阪大版プロボスト）の設置 (㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

H

系別の戦略会議の設置 (㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

H

部局評価制度の改革 (㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺)

I

E 世界的研究拠点の形成

F 産学共創の先導モデルの構築

G 財源の多様化/予算規模の拡大

H 最適かつ迅速な意思決定体制の構築

I 経営・執行体制の強化